単元名：

「平家物語一扇の的」

(全5時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年9月2日(月)第3校時

授業学級 2年D組

授業会場 2年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

多様な方法で表現された扇の的に触れ、本文と比較して内容を整理することができる。

(2) 授業のポイント

- ・平家物語に初めて触れる生徒たちが、多様な方法で表現された扇の的に会うことを通して扇の的の情景を想像できる。
- ・多様な方法で表現された扇の的と本文を比較する。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 二種類の「扇の的」を比較する。	○「映像は絵巻のどこに対応しているだろう」 (意図)明確な答えが浮かぶ問いにすることで答えやすくする。 ★ICT (TV、スライド)	10
	【学習問題】「平家物語一扇の的」とはどのような作品だろうか。		
展開	2. スライドを用いて情報を整理する。	○「物語の背景を知ろう」	5
	【学習課題】本文から読み取れることを絵巻に書き込んで、自分だけの扇の的図鑑を完成させよう。		
展開	3. 授業者の範読を聞く。	○「映像を思い出しながら聞きこよう。」 ◇要望に応じて再度映像を流す。	5
	4. 絵巻に自分なりに読み解いたことを書きこむ。	○「現代語訳や教科書をもとに、扇の的の物語を絵巻に書き込もう。」 ◇現代語訳や教科書をもとに、扇の的についての情報を書き込むように促す。	10
展開	5. 周りの人と図鑑を見せ合って完成に近づける。	○「周りの人と情報を交換して、自分なりの扇の的図鑑を完成させよう。」 ◇理由や本文の表現を付け加えて、周りの人と交流するように促す。	10
	【評価(対象)】扇の的から読み取れたことを、自分なりの言葉で整理することができる。(ワークシート)		
終末	6. 授業の振り返り	○「授業を振り返って、感じたことや考えたことを書きましょう。」 ◇整理した情報を基に、扇の的を射ることはできたのか考えるよう促す。	10